令和6年度小笠南小学校教育の振り返り<2学期>について(お知らせ)

12月に実施した小笠南小学校学校評価アンケートへの御協力をありがとうございました。調査結果をまとめましたので報告いたします。 (有効回答率:73.2%)

				過去3年での最高値	5ポイン	小以上変動
	調査項目	対象	R6 1学期 肯定的%	R6 2学期 肯定的%	R6数値目標	前回との増減
1	学校が楽しい	児童	93.7	91.3	95	-2.4
		保護者	92.1	94.6		2.5
		教師	100	100		0
	みんなで何かをするのは楽しい	児童	98.4	95.2	90	-3.2
2		保護者	94. 2	95.7		1.5
		教師	100	100		0
	授業に主体的に取り組んでいる	児童	92.1	93.7	95	1.6
3		保護者	80.4	81.7		1.3
		教師	93.4	100		6.6
	授業がよく分かる	児童	89.8	93.7	90	3.9
4		保護者	83.4	79.6		-3.8
		教師	73.4	80		6.6
	学校に、信頼することのできる先生がいる	児童	92.9	90.4	90	-2.5
5		保護者	91. 2	97.8		6.6
		教師	100	100		0
	地域や社会をよくするために何をすべきかを 考えることがある (5・6年生のみ)	児童	92.3	84.6		-7.7
6		保護者	50.1	68		17.9
		教師	60	60		0
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、 自分の考えを深めたり、広げたりすることが できていると思う	児童	88.2	92.9		4.7
7		保護者	76.4	84.9		8.5
		教師	86.7	73.3		-13.4
8	授業では、PC・タブレットなどのICT機器 を、どの程度使用したか	児童	70.1	83.3		13. 2
		保護者	83.4	88. 2		4.8
		教師	93.3	100		6.7
8	授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っているか(3年生以上)	児童	74.4	83.5		9.1
1		保護者	-	-		_
		教師	80	100		20
8	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度は、スパスか(2年は以上)	児童	48.8	52.9		4.1
2		保護者	-	-		_
	の程度使っているか(3年生以上)	教師	66.7	86.7		20
8	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面	児童	39.5	50.6		11.1
3	で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度は、アルスか、(3年は以上)	保護者	-	- 72 2		20
	の程度使っているか(3年生以上)	教師	53.3	73.3		20
_	進んであいさつしようとしている	児童	92.9	93.7		0.8
9		保護者	78.5	75.3		-3.2
		教師	73.3	66.7		-6.6
1 ^	自分、学級、学校をよりよくしようと、進ん で行動している	児童	89.8	96.8		7
10		保護者	79.4	79.6		0.2
		教師	86.7	86.7		0
11	だれかの役に立とうとして行動している	児童	92.9	92.9		0
		保護者	87.3	88.2		0.9
		教師	80	86.7		6. 7 1 /
1 2	自分のよさに気付こうとしている	児童	81.9	83.3		1.4
12		保護者	82.3	81.7		-0.6
		教師	80	86.7		6.7
13	自分の考えや立場を相手に分かるように話そ うとしている	児童	93.7	88.9		-4.8
		保護者	80.4	78.5		-1.9
		教師	86.7	60		-26. 7

	調査項目	対象	R6 1学期 肯定的%	R6 2学期 肯定的%	R6数値目標	前回との増減
14	相手の考えや立場を分かるまで聴こうとして いる	児童	92.9	92.9		0
		保護者	79.4	80.6		1.2
		教師	73.3	73.3		0
	授業は、わかった楽しさや知る楽しさがある	児童	92.2	92.1		-0.1
15		保護者	93. 2	96.8		3.6
		教師	93.3	93.3		0
16	授業で新しい発見や他の考えを新しく見つけ ようとしている	児童	97.7	92.9		-4.8
		保護者	80.4	84.9		4.5
		教師	73.4	80		6.6
	学んだことを理解して、場面に応じて使うことができている	児童	91.3	89.7		-1.6
17		保護者	82.4	90.3		7.9
		教師	60	73.3		13.3
	困っていることに対して、自分で解決策を決	児童	90.7	88.2		-2.5
18	定し、粘り強く解決しようとしている【自己】	保護者	75.7	71.7		-4
	決定力】	教師	80	66.7		-13.3
	比較して考えたり、関連付けて考えて深い学 びに向かったりしている【分析力】	児童	95.4	88.2		-7.2
19		保護者	61.4	71.7		10.3
		教師	53.3	53.3		0
	相手の思いや考え・立場を受け入れ、自分の考えと 練り合わせ、よりよくなろうとしたり、集団で目標 に向けて高めていこうとしたりしている【人問関係	児童	90.6	91.8		1.2
20	に向けて高めていこうとしたりしている【人間関係	保護者	84.3	88.3		4
	形成能力】	教師	66.6	80		13.4

※保護者、教師を対象とした調査項目の主語は、「子どもは」です。

<アンケート結果の分析・考察>

今年度重点的に育成を図っている資質・能力に係わる項目(数値目標を設定した項目)についての成果と課題は、次のとおりです。

1 学校が楽しい 91.3% → ▲目標未達成

来年度以降、子どもが主体となって創造できる行事やイベントを増やしたりすることが考えられる一方で、「『楽しさ』とは何か?どういうときに『楽しい』のか?」 について、子どもと教師が共に考え、共通認識をもつ必要があります。

2 みんなで何かをするのは楽しい 95.2% → ○目標達成

目標を達成したものの1学期より値が下がってなってしまったことから、ペア活動や縦割活動の充実、達成感を感じられるような授業づくりなどを進めていきたいと考えています。

3 授業に主体的に取り組んでいる 93.7% → ▲目標未達成

目標未達成ながら、前回調査に比べ三者(子ども・保護者・教師)とも数値が向上しました。教師による日々の授業改善はもちろんのこと、子どもたちは自分事として学習を進め、保護者は子どもの頑張りを十分に称揚した成果だと考えられます。このよい流れを来年度以降も続けていきたいと思います。

4 授業がよく分かる 93.7% → ◎目標達成

前回調査から数値が向上し、目標を達成することができました。授業に主体的に取り組む姿が、授業の理解度にもつながっている証です。確かな学力の定着に向けて、来年度以降も子どもの実態に合った様々な手立てをうっていきたいと思います。

<u> 5 学校に、信頼することのできる先生がいる 90.4% → 〇目標達成</u>

目標を達成し、保護者の回答は過去3年での最高値になっているものの、子どもの回答は1学期より下がってしまいました。子どもたちが気軽に悩みなどを 相談できる時間や場を設定する必要があります。

※自己決定力 88.2%、分析力 88.2%、人間関係形成能力 91.8% → 〇高い水準

今年度、特に磨きたい資質・育みたい能力です。特に、人間関係形成能力が高く、前回調査よりも数値が向上しました。

< 皆様からいただいた御意見より>

本校の教育活動について、様々な御意見をいただきました。学校内で検討させていただき、変更や改善が必要な事柄については、 来年度以降の教育活動に反映させていきたいと思っています。

また、子どもたちの頑張りや素敵な表れ等についても、子どもたちを温かい目で見てくださり、たくさんの御意見をいただきました。参考までに、いくつかの御意見を記載させていただきます。

- ・毎日、元気に学校に通うことができていて嬉しい。
- ・学習等に対して頑張ろうとする気持ちも育ってきている。宿題に取り組む意欲も高い。
- ・友達との関わりの中で、日々子どもが成長していることを実感できる。
- 全校遊びや南っ子フェスティバル等、縦のつながりができることがよい。
- ・目を見て気持ちのよい挨拶ができる子がいて嬉しい。横断歩道でも止まるときに「ありがとうございました」とお辞儀をして大きな声で言ってくれて嬉しい。一方で、スルークガードさんへの朝の挨拶はできずに下を向いてしまう子が多いと思う。
- ・南っ子フェスティバルはいろいろと工夫されていたり、全校を見られる機会になったりしているので、来年度以降も続けてほしい。
- ・運動会は、コロナ前のように土曜日1日開催にして家族でお弁当を食べる時間をつくってほしい。また、徒競走は全学年やってほし
- ・子どもが毎日安心して落ち着いて授業が受けられる環境づくりをしていってほしい。
- ・iPadの利用方法やiPadを使った家庭学習について再考してほしい。

保護者の皆様からの温かいお言葉と貴重な御意見をありがとうございました。皆様の思いをしっかりと受け止め、今後も地域と学校が連携・協働して子どもたちの成長を支える学校を目指していきます。学校も教育目標である「自信をもち自分の力を発揮する子」の具現のため、精一杯努力してまいりますので、御理解・御協力のほど、よろしくお願いいたします。